

令和3年度

札幌科学技術専門学校

自己評価及び学校関係者評価結果報告書

学校法人 総合技術学園

札幌科学技術専門学校

本校における学校評価は、学校教育法及び学校教育法施行規則に従い、学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営に改善を図るため必要な措置を講ずることによりその教育水準の向上に努めることを目的としました。

また、自己評価の結果については、学校関係者評価委員会による評価を行い、その結果を公表することにより説明責任を果たすとともに、地域や企業との連携・協力による特色ある専修学校づくりを図っていくことに努めます。

1 学校関係者評価委員

氏 名	種 別	所 属
倉 内 慶 一	高等学校関係者	元北海道あすかぜ高校長、現双葉高等学校教頭
今 井 裕比古	地域住民	大通地区西17丁目町内会長
橋 本 光 江	卒業生	専門課程第4期卒業生（生物工学科）
中 村 みゆき	保護者	専門課程自動二輪車コース2年生保護者
渡 辺 敏 郎	関連業界関係者	北第百通信株式会社顧問（～令和4年3月末日）

2 自己評価及び学校関係者評価委員会の日程

- (1) 12/20（月）・教職員による自己評価の実施
- (2) 1/17（月）・自己評価委員会による自己評価の分析と評価
・自己評価結果①の教職員への提示
- (3) 2/1（火）・学校関係者評価委員会 → 延期
- (4) 3/9（水）・自己評価結果②（特記事項：意見等付記）の教職員への提示
- (5) 4/12（火）・学校関係者評価委員への文書による「自己評価結果」への評価の依頼
- (6) 5/13（木）・学校関係者評価委員からの質問ご意見等の集約結果について、教職員へ提示
- (7) 8月下旬 ・自己評価委員会による「令和4年度学校評価」の在り方の検討

3-1 令和3年度 自己評価結果 <専門課程>

評価点: 適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

項目	番号	質問内容	評価点	平均	自己評価委員会の分析・評価
・教育 ・目標 ・理念	1-1	学則や教務便覧等で示す「本校の目的、教育目標、教育方針」は理解しているか	3.3	3.1	・業界、企業との連携を密にする取組を強化するなど、学校運営方針の一つとして焦点化する。
	1-2	教育目標達成のため、地域や関連の深い企業の評価や期待を意識しているか	3.1		
	1-3	教育方針達成に向けて、社会や業界のニーズを理解し、学生の実態を踏まえた人材教育を図っているか	3.0		
学校 運営	2-1	年度初めの「学校運営方針」を理解しているか	3.0	2.8	・令和3年度に組織・体制の見直しが行われ 令和4年度には新体制になることから 様々な改善が期待される。
	2-2	「学校運営方針」の中期目標や短期目標を踏まえた事業計画となっているか	2.9		
	2-3	運営組織や事業推進のためのプロセスが明確で機能しているか	2.7		
	2-4	給与や奨励手当等に関する規程は整備されているか	2.8		
	2-5	教務・財務等の組織・体制は整備されているか	2.7		
	2-6	教育活動等に関する情報公開がホームページ等で適切になされているか	3.0		
	2-7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.8		
教育 活動	3-1	学校評価や情報公開に基づく『質の保証・向上』のため、業界との連携(情報交換と評価)を図っているか	2.8	2.7	・職業教育の内容について、関連分野との 情報交換を積極的におこなうための研修や、 そのための支援に工夫が必要である。
	3-2	産業技術者の育成を意識した取組が体系的・計画的なものになっているか	2.7		
	3-3	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.8		
	3-4	関連分野の企業や業界団体等との連携により、カリキュラムの見直しを行っているか	2.5		
	3-5	産業構造の変化や技術の革新に機敏に対応する教育課程となっているか	2.5		
	3-6	関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	2.6		
	3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	3.0		
	3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れるための工夫をしているか	2.4		
	3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.4		
	3-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.3		
	3-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	2.7		
	3-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか	2.3		
	3-14	教員の能力開発のための研修や研修の案内等が行われているか	2.5		
	学修 成果	4-1	就職支援室との連携を強化するなどして、就職率の向上が図られているか		
4-2		資格取得のための補習などで支援を強化するなど、資格取得率の向上が図られているか	3.5		
4-3		学生支援センターと連携を強化するなど、退学率の低減が図られているか	3.0		
4-4		卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.0		
4-5		就職先企業訪問などの取組による、卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用しているか	2.8		
学生 支援	5-1	進路・就職に関する支援体制は十分に機能しているか	3.0	3.1	・課外活動は学生の意思を尊重し、同好会 活動を含めて実施されているが、支援の 拡充に工夫が必要である。
	5-2	学生相談に関する体制は十分に機能しているか	3.2		
	5-3	学生・保護者への経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.3		
	5-4	学生の健康管理に配慮した教育体制はあるか	3.1		
	5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.8		
	5-6	保護者との情報提供や情報交換など適切な連携がなされているか	3.0		
	5-7	卒業生への支援体制はあるか	3.2		

環境教育	6-1	施設・設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備されているか	2.3	2.6	・本校者は築35年、北校舎は築45年を迎え 施設・設備の老朽化が散見されるが、
	6-2	インターンシップの奨励等について、十分な教育体制を整備しているか	2.7		
	6-3	防災に対する体制は整備されているか	2.7		
募集 受け入れ 学生	7-1	高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みが行われているか	3.0	3.0	・AO入試の方法を見直したことから、 入学体験会の体験内容に特色を込める など、充実と改善が期待される。
	7-2	学生募集活動は、適宜、見直しや工夫が行われているか	2.9		
	7-3	学生募集活動において、学校案内やホームページ等で教育成果(資格取得・就職状況等)は正確に伝えられているか	3.2		
	7-4	学納金は学校経営や学生募集の観点から妥当なものとなっているか	3.0		
財務	8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.4	2.7	・財務についての教職員の理解は、難しい側面もあり 一部(給与、赤字額等)を除いて関心が低いのではないかと。
	8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.5		
	8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	3.0		
	8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	3.0		
法令 遵守 等の	9-1	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	3.3	3.1	・自己評価の在り方など、学校評価全体の 見直しが必要ではないか
	9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.2		
	9-3	自己評価についての学校関係者評価等の実施と課題の改善を行っているか	2.7		
社会 貢献・ 地域	10-1	学校の教育資源や施設を活用(試験会場やセミナーなどへの貸し教室等)した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.4	3.1	・学生による地域の美化活動は、計画的に実施 されているが、学生の主体性が肝要となることから 多面的な症例・支援が必要である。
	10-2	学生のボランティア活動を奨励・支援(保険等への加入など)しているか	2.8		
	10-3	地域に対する公開講座・教育訓練(中学生の受け入れ等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	3.1		
国際 交流	11-1	留学生の受け入れ・派遣について、工夫や弾力的対応を行っているか	2.7	2.9	・留学生の受け入れは、社会からの期待でもあるが、 これまでの経験から、言葉の壁、生活の支援などに 困難を伴ったこともあり、積極的に受け入れる 体制づくりが整っていない。
	11-2	留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適正な手続き等がとられているか	3.0		
	11-3	留学生の学習・生活指導等について学生支援センターと連携した支援体制が整備されているか	3.0		
	11-4	留学生に対しての支援のための規程等は整備されているか	2.8		

4-1 学校関係者評価委員会からのご意見から

「自己評価」と「自己評価委員会における分析・評価」は、各項目において全て適正であると評価をいただきましたが、加えて、次のような貴重なご意見やアイデアも寄せられましたので追記します。

- (1) HPを拝見し、全体に凝ったつくりで、通っていた私も(また)通ってみたいと思いました。
- (2) 指導力向上を求めている教員が多い。学校は、それに応えてあげることが必要。
- (3) SDGsへの取り組みも世界中に広がっているので、若い世代がこれらの意識を強く持ち、そのような人が増えていくととても心強く感じます。
- (4) 施設設備は限られた予算の中で、可能な範囲での更新が必要と考える。
- (5) 「財務」の項目では、「やや不適切」との評価が多いので、少し心配です。ですが、会計監査が適正に行われているとの評価は高いので安心ではあります。しかしながら、「やや不適切」、「不適切」と評価しているものもいるようですので、どの点が不適切なのかを把握する必要があります。
- (6) 北校舎と同様、本校舎も老朽化により施設・設備の改修への要望が見て取れます。学生が安全に学ぶことができるよう、かつ、財政面に負担の少ない方法で実現していただきたい。

以上

3-2 令和3年度 自己評価票結果【高等課程】

評価点:適切・・・4、ほぼ適切・・・3、やや不適切・・・2、不適切・・・1

項目	番号	質問内容	評価点	平均	自己評価委員会の分析・評価
教育理念 目標	1-1	学則や教育計画(高等課程)等で示す「本校の目的、教育目標、教育方針」は理解しているか	3.8	3.2	・本校専門課程への進学指導に重きを置いているため業界・企業とのれんけいは限定的である
	1-2	教育目標達成のため、地域や関連の深い企業の評価や期待を意識しているか	2.8		
	1-3	教育方針達成に向けて、社会や業界のニーズを理解し、学生の実態を踏まえた人材教育を図っているか	3		
学校運営	2-1	年度初めの「学校運営方針」を理解しているか	3.3	2.8	・給与についてのシステムが、現状とマッチングしていないため、不透明感が存在する。 令和4・5年度に大幅な見直しの予定
	2-2	「学校運営方針」の中期目標や短期目標を踏まえた事業計画となっているか	3		
	2-3	運営組織や事業推進のためのプロセスが明確で機能しているか	2.8		
	2-4	給与や奨励手当等に関する規程は整備されているか	2.1		
	2-5	教務・財務等の組織・体制は整備されているか	2.9		
	2-6	教育活動等に関する情報公開がホームページ等で適切になされているか	3.3		
	2-7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	2.4		
教育活動	3-1	学校評価や情報公開に基づく『質の保証・向上』のため、専門課程との連携(情報交換と評価)を図っているか	2.3	2.6	・産業技術者の育成は、そのための基礎を重点化しているため、進路指導の充実が必要である ・職業教育より、進学指導に重きを置いているため、進路指導での工夫が必要である
	3-2	産業技術者の育成を意識した取組が専門課程と連携した体系的・計画的なものになっているか	2.1		
	3-3	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	2.8		
	3-4	専門課程の各関連学科との連携を強化し、専門課程進学者に求められることを基に、カリキュラムの見直しを行っているか	2.5		
	3-5	専門4分野は産業構造の変化や技術の革新に機敏に対応する教育課程となっているか	2.8		
	3-6	専門課程カイトパス(1年)・専門課程訪問(2年)による専門課程研究について、計画的・系統的な指導が行われているか	3.3		
	3-7	授業評価の実施・評価体制はあるか	2.5		
	3-8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	1.8		
	3-9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	3.8		
	3-10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.1		
	3-11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	2.5		
	3-12	関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメント	2.3		
	3-13	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか	2.1		
	3-14	教員の能力開発のための研修や研修の案内等が行われているか	2.5		
生徒指導等	4-1	基本的な生活習慣の確立のための取組みが行われているか	3.6	3.4	・特別支援教育の更なる充実を進める
	4-2	生徒の安全管理のための取組等(災害共済保険、スクールカウンセラー、発達障害のある生徒等への支援など)が行われているか	3.1		
	4-3	生徒・保護者からの相談体制が整備されているか	3.5		
	4-4	進学・就職指導にかかる支援体制は整備されているか	3.4		
活動等 特別	5-1	特別活動の目的に沿って、計画的・系統的な指導が行われているか	3.1	3.3	・新型コロナウイルス感染症の影響により多くの活動に制限を受けた
	5-2	保護者会(科技高を応援する会)と連携した活動を推進しているか	3.5		

学修成果	6-1	学年と進路指導部が連携を強化し、進学率や就職率の向上が図られているか	3.6	3.1	・専門課程への進学者及び卒業生の追跡調査などの工夫が必要
	6-2	学年及び教科と連携して、資格取得率の向上が図られているか	3.5		
	6-3	教職員が情報を共有し、退学率の低減が図られているか	3.4		
	6-4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2.4		
	6-5	専門課程との連携を密にするなど、卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2.4		
生徒支援	7-1	生徒・保護者への経済的側面に対する支援体制は十分に機能しているか	3.1	2.8	・課外活動への予算面での支援が必要 ・卒業生への具体的な取り組む体制がない
	7-2	生徒の健康管理に配慮した教育体制はあるか	2.9		
	7-3	クラブ活動などの課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.8		
	7-4	保護者との連絡・相談、協力依頼など、適切に連携しているか	3.4		
	7-5	卒業生への支援体制はあるか	2.6		
	7-6	専門課程との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか	2		
環境教育	8-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう計画的に整備されているか	1.8	2.4	・施設・設備の老朽化が散見され、中・長期的な改修・修繕計画が必要である
	8-2	健康管理施設、安全施設、防火施設について、点検及び補修・改修計画が示され、適切に行われているか	2.4		
	8-3	防災に対する体制は整備されているか	2.9		
生徒の募集	9-1	中学校等接続する機関に対する情報提供等の取組みが行われているか	3.4	3.4	・中学校訪問は、新型コロナの影響を大きく受けて、十分な活動とはならなかった
	9-2	生徒募集活動は、適宜、見直しや工夫が行われているか	3.6		
	9-3	生徒募集活動において、学校案内やホームページ等で教育成果(資格取得・進学または就職状況等)は正確に伝えられているか	3.3		
	9-4	生徒納付金は学校運営や生徒募集の観点から妥当なものとなっているか	3.3		
財務	10-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	2.5	2.8	・財務についての教職員の理解は、難しい側面もあり一部を除いて関心が低い
	10-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.6		
	10-3	財務について会計監査が行われているか	3		
	10-4	財務情報公開の体制整備はできているか	3		
法令遵守等の	11-1	法令、専修学校設置基準の遵守と適正な運営がなされているか	3.3	3.2	・コンプライアンスの精神は根付いている
	11-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.4		
	11-3	自己評価についての学校関係者評価等の実施と課題の改善を行っているか	3		
社会貢献・地域	12-1	地域に開かれた学校として、教育活動の報告や公開が行われているか	2.3	2.7	・教育活動の公開や報告など、地域へのPR活動を工夫する必要がある
	12-2	生徒のボランティア活動について啓蒙し、計画的に行っているか	2.8		
	12-3	北校舎として資格試験会場や専門課程との連携・共用を工夫しているか	2.9		

4-2 学校関係者評価委員からのご意見より

- (1) 情報システム化による業務の効率化については、自分たちでできることは限られていると思うので専門家の支援や優先順位の工夫が必要
- (2) 教員は、職業教育について、外部の評価や連携を通して指導力向上を求めている
- (3) 教員の指導力育成に関する評価が低いですが、専門分野の研修の情報を收拾すること自体難しいと思います。私の職場で利用しているスキルアップ研修では、「産業能率大学総合研究所」及び「Jまなagementスクールを活用しています。」
- (4) HPでは、どのようなことを学べるかが分かりました。

以上

5 まとめ

令和3年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、5/16（日）からの「緊急事態宣言」、8/2（月）からの「まん延防止等特別措置」の適用、更には、8/27（金）からの度重なる「緊急事態宣言」を受け、その都度、臨時休校、分散登校、変則時程等を実施するなど、10/4（月）からの通常授業再開まで、様々な工夫と配慮を行ってきました。そのようなことから、予定していた教育計画も変更や代替、夏季休業中の振替授業の実施、始業時間と終業時間を遅らせるなどの変則時程を実施するなどの工夫を行いました。

学校評価については、学校関係者評価委員会が延期を余儀なくされるなど、対面での委員会の開催を見送り、文書による「質問・ご意見等の聴取」となり、日程も大幅な変更となりました。

以上のような関係もあり、自己評価の結果は満足できない部分もありましたが、幸いにも、学校関係者評価委員からの貴重なご意見やアイデアをいただくことができ、今後の課題解決のための取り組みと地域や関係する企業等との連携・協力による特色ある専修学校づくりを図るなど、今後の学校運営に反映させることができると考えています。

最後に、お忙しい中ご協力をいただきました、学校関係者評価委員の各位に感謝を申し上げます、「自己評価及び学校関係者評価結果」の報告といたします。

令和4年5月25日

札幌科学技術専門学校 自己評価委員会
委員長 児玉 佳範（校長）